

＜参考＞新潟次世代教員養成プログラム後期プログラム授業計画

2025. 8. 6 現在

【新潟教育事情 A（地域課題体験）】

※授業計画は現時点の予定であり、今後変更となる場合があります。

＜授業概要＞

新潟の地域課題である「拉致問題」「離島へき地」について視察・調査・交流などの体験を通して、課題に対する理解を深めるとともに、課題に対応することができる教員の育成を目指す。

＜授業計画＞

1 オリエンテーション(教職キャリアの目標設定)

本講座の概要を伝え、目標をもつ。

2 離島教育の実際① 学校視察(地域素材を活用した授業、少人数・複式学級における指導)

佐渡市立松ヶ崎小学校を訪問し、少人数・複式学級の授業を参観するとともに、地域素材を活用した授業実践について知る。

3 離島教育の実際② 文化調査(とき、鬼太鼓、世界遺産指定への取組など)

集落ごとに独自発展している鬼太鼓が現在も口伝させている文化が残り、特別天然記念物として指定されているトキが保護飼育されているなど、佐渡には豊富な文化財がある。2022 年には、政府閣議において「佐渡島の金山」がユネスコ世界遺産へ推薦されたことから、文化財にふれることを通して、教育利用について考える機会とする。

4 拉致問題から学ぶ① 拉致現場視察からの学び

拉致被害現場を訪れ、被害者や被害者家族の当時の心境を考えるとともに、拉致から 40 年以上、被害者が帰国してから 20 年以上経過していながら、解決に至っていない現状について考える。

5 拉致問題から学ぶ② 拉致被害者・拉致被害者家族からの学び

拉致被害者であり拉致被害者家族でもある曾我ひとみさんから、拉致の実際について話を聞き、交流することを通して、拉致被害者に思いを寄せるとともに、学校教育に求められることを考える。

6 拉致問題から学ぶ③ 拉致被害者を支える人々からの学び

拉致被害者を支える人々の活動や思いを知り、児童生徒が取り組むことができることなどを考える。

7 拉致問題を通して考える人権教育

拉致問題を考えることを通し、新潟県の人権課題に触れ、学校教育における人権教育の重要性に触れる機会とする。

8 教員育成指標を基にしたこれからの教師像(新潟県・新潟市教育委員会より講話)と振り返り
新潟県・新潟市教育委員会から教員育成指標について講話をいただき、自身の教師像について考える。